

応募書類の記入要領

共通事項（様式第2号～第10号の全てに適用）

※ 使用フォント

- ・和文は標準として、MS明朝（標準）、11ポイントを使用すること。
- ・欧文は標準として、Times New Roman（標準）、11ポイントを使用すること。
- ・英数字は半角文字を使用すること。

※ 様式第2号から第10号まで通して「名字－ページ番号」を付してください。

（word挿入→ページ番号→ページ番号の書式設定で、各様式の開始ページを変更してください。）

様式第2号：履歴書

※ 写真（3か月以内に撮影したカラー写真、縦4cm×横3cm、正面・無帽・肩上のもの）

※ 学歴・職歴・免許等【学歴（高等学校卒業以降）、学位取得（最終学位・学位記番号）、職歴（全て）、免許、賞罰】

- ・職歴欄の「・・・する」や「・・・を命ず」は省くこと。
- ・職歴欄で同一併任職に反復発令された場合は最初の発令のみ記入すること。

様式第3号：学術論文一覧表

※ 「発表論文名・著者名等」の欄は、論文題名、著者名（申請者本人には下線を付すこと）、学術雑誌名、巻（号は不要、ただし巻で通しページでない場合は号を付す）、最初と最後のページの順に記入すること。著者名が多数にわたる場合は、その人数と、申請者本人が掲載されている順番を×番目と記入しても可。

※ 現在までに発表した学術論文を、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり論文毎に通し番号を付して記入すること。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限る（証明書の添付が必要）。

※ 主要論文の別刷を提出すること（ただし5編まで、各一部、コピー可）

※ 発表年（西暦）、学術誌名は、和文は正規の表記とし、英文は略名でも可。

※ 学術誌巻数は、和文論文では「第5巻」、英文論文では「Vol. 5」のように記すこと。

※ 著者名の英語表記は、姓はフルネームで、名は頭文字のみとすること。その他の表記方法は自由とするが、様式内では統一して記載すること。

※ 申請者本人が第1著者（First author）あるいは責任著者（Corresponding author）である業績には、業績No.の下に「○」を付すこと。

※ プロシーディング（学会等において査読のあるものに限る）がある場合は、学術論文リストの後ろにまとめて記載すること。なお、同じ内容が原著論文で発表されている場合には記入しないこと。

※ 参考資料として、学位（・・・）論文を末尾に記載する。

様式第4号：著書・総説一覧表

※ 「著書名・著者名等」の欄は、著書（題目）、発行所（ページ）、著者名の順に記入すること。

※ 以上の他は、様式第3号：学術論文一覧表の記入要領に準じて記入すること。

様式第5号：特許・研究調査報告・外部資金獲得・その他

※ 「課題名・研究者名等」の欄について

①特許について

- ・出願したもの、公開されたもの、登録されたものに区分して記入すること。

- ・出願特許は、発明の名称、出願日、特許の出願番号、発明者、出願人を記入する。
 - ・公開特許は、発明の名称、公開日、特許の広報番号、発明者、出願人を記入する。
 - ・登録特許は、発明の名称、登録日、登録番号、発明者、出願人を記入する。
- ②研究調査報告について
報告課題名、発行機関(巻号、ページ)、発行年月、研究者名、を記入すること。
- ③外部資金獲得
外部資金の獲得実績を科学研究費、各省庁からの資金、企業からの資金、その他に分けて記入すること。
例)・科学研究費基盤研究(B)(代表)課題名:哺乳類および鳥類の生体内時系列機構と生体時計機構の解析、2011年-2013年
・厚生労働省研究費補助金(分担、代表 宮崎太郎) 課題名:ソマトポーズにおける新規ホルモングレリンの臨床応用とその基盤的研究、2011年-2013年
- ④その他について
その他、研究業績について特記事項があれば記載すること。

様式第6号:学会講演一覧表

- ※ 「講演発表論文名・発表者名 等」の欄は、題目、学会名(第××回、開催地名)、研究者名(共同研究の場合は、発表者に○印を付ける)を記入すること。
- ※ 最近10年間に発表した学会講演のうち、代表的なもの(10題以内)を選んで、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり通し番号を付して記入すること。
- ※ 招待講演、基調講演などについては、その旨を付記すること。
- ※ 学会開催地(都市名)を()内に記し、国際学会の場合は国名も記すこと。
- ※ 以上の他は、様式第3号:学術論文一覧表の記入要領に準じて記入すること。

様式第7号:「教育」に関わる業績

- ※ 教育経験があれば、その概要を現在から過去にさかのぼって記載すること。
- ※ その他特記すべき教育方法の実践例や教育上の能力に関する大学の評価などがある場合には記載すること。

様式第8号:「社会貢献」に関わる業績

- ※ 以下のような「社会貢献」に関わる活動経験があれば、その概要を現在から過去にさかのぼって記載すること。
- ・地域貢献:例えば、公開講座の講師、生涯学習・社会人教育の講師、地域還元事業(公募卒業論文の実施担当者)、地域研究機関・研究ネットワーク委員、公的機関審議会委員、技術相談など
- ・国際貢献:例えば、国際協力プロジェクト・組織(JICAなど)の担当者、外国人研究者・外国人研究生の受け入れ、異文化交流体験学習の実施、国際交流協定の締結・更新、協定締結校における公開講義の実施など
- ・学術貢献:例えば、学術団体役員、学会等の開催など
- ※ その他特記すべき事項などがある場合には記載すること。

様式第9号:「組織の管理運営」に関わる業績

- ※ 以下のような「組織の管理運営」に関わる経験があれば、その概要を現在から過去にさかのぼって記載すること。
- ・管理運営:たとえば管理運営組織の長、学部教育組織、大学院教育組織および研究組織の長・委員(代議員)など

- ・各種委員会：たとえば各種委員会およびワーキンググループの長・委員など
 - ・その他：企画室員、広報情報室長・室員、附属施設における業務など
- ※ その他特記すべき事項などがある場合には記載すること。

様式第 10 号：「教育」「社会貢献」「大学・学部の管理運営」についての抱負

- ※ 教育、社会貢献および大学・学部の管理運営、それぞれについて、着任後の抱負を記述すること（それぞれの項目について、1,000 字以内で A4 の様式 1 枚にまとめる）。

以上